

外観



“安全でわくわくする公園のような特別支援学校”をコンセプトに計画された新校舎。校内には突起物をなくし角の面取りを徹底するなど、児童生徒がケガをしない工夫が随所に施されている。

低学年用トイレ 図面



低学年用トイレ 洗面コーナー



洗面コーナーも小柄な児童に配慮して、カウンター高さを変えて設置（580mm・730mm）。水栓金具は教育的観点から、ハンドル式水栓と自動水栓を採用している。

訓練用トイレ 車いす対応ブース



車いす使用者配慮以外に、おむつ替え用として折りたたみシートを設置。小柄な児童生徒に配慮し、背もたれの後ろに補助便座も準備している。

低学年用トイレ 大便器ブース



小柄な児童に配慮し、座面高さが低い低リップ大便器を設置した大便器ブース。洗浄方式はタッチスイッチ式を採用。

低学年用トイレ 大便器ブース



異物が詰まったとき、詰まりを解消しやすい掃除口付大便器を設置した大便器ブース。洗浄方式はレバーハンドル式を採用。

ひかりのひろば



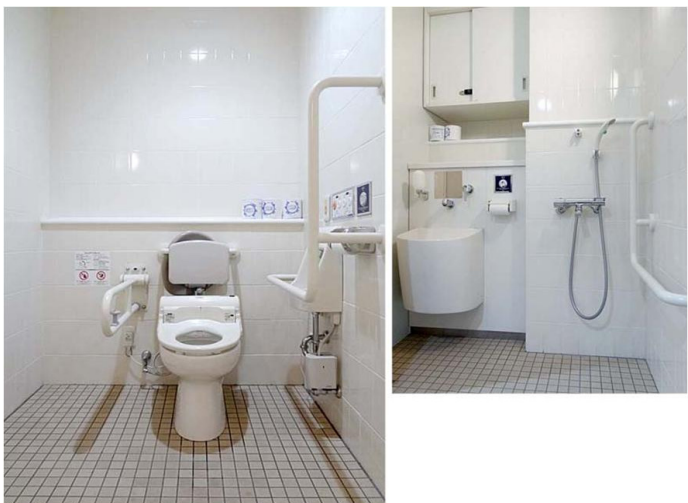
校舎の中央に位置する「ひかりのひろば」。ここを基点として、自分の教室に迷わずに行ける配置になっている。ソーラーシステムが設置されたシースルーの幕天井からは、やさしい光が降り注ぐ。

かまくら・スヌーズレンルーム



興奮状態にある児童生徒が落ち着きを取り戻すための空間「かまくら」（左）のほか、「動と静」をテーマにした、心地よい感覚刺激（光・音・触感・香りなど）のもと、リラックスできるスヌーズレンルームが設けられている。

低学年用トイレ 大便器ブース



男女トイレとも、車いす使用者に配慮した広い大便器ブースを1か所設置。粗相をした場合を想定して、シャワー金具と汚物流しを併設している。

低学年用トイレ 小便器コーナー



小柄な児童に配慮し、幼児用小便器も設置。足元には尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを採用している。

建築概要

名 称	広島市立広島特別支援学校
所 在 地	広島市南区出島4-1-1
施 主	広島市教育委員会
設 計	株式会社佐藤総合計画
施 工	西松建設株式会社・大之木建設株式会社JV
竣 工 年 月	2012年9月

水まわりの特長

＜新築の経緯＞
1983年に開校した広島養護学校を前身とし、その後2007年に広島特別支援学校に名称変更。築50年が経過した施設や設備の老朽化が進んだこと、また児童生徒の増加、障害の重度・重複化、多様化などに対応するため、2012年に新校舎を移転・建設。スヌーズレンルームや生活指導室、機能訓練室など、特色ある教室も設置し、日々、児童生徒の自立と社会参加を目指す教育を推進している。“安全でわくわくする公園のような特別支援学校”をコンセプトとする新校舎は、国内外から注目されており、開校以来学校見学者は10,000人を超えている。

＜トイレの特長＞
トイレを“ステップアップ”の場と捉え、年齢や特性などを考慮し、身体と心の成長に即した空間になるよう計画している。低学年用トイレでは、小柄な児童に配慮し、座面高さが違う大便器や幼児用小便器を採用。また、便器の洗浄や水栓金具などは、教育的観点から操作方法の違うものを採用し、さまざまな器具を体感し学習できるように配慮されている。そのほか、すべての男女トイレに、車いす使用者に配慮した広い大便器ブースを1ヶ所設置。粗相をした場合を想定し、シャワー金具と汚物流しも併設している。